

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第2回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業について（公開）

- ① 進め方の説明
- ② ヒアリング
- ③ 採点
- ④ 審査・採択すべき事業の決定
- ⑤ 追加募集の実施の要否について

3 開催日時

令和2年6月22日（月） 午後6時30分から午後8時50分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：川上 俊一、川上 奈津子、川上 久雄（会長）、川室 光昭、西嶋 明子、
服部 幸雄、堀川 悦郎、山岸 愛、山岸 真也、山田 勝也、
山田 哲平（副会長） （欠席1人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【川上会長】

- ・会議録の確認：川上 奈津子 委員に依頼

次第2 議題「(1) 地域活動支援事業について」に入る。最初に「① 進め方の説明」について事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・本日の進め方について説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

次に「② ヒアリング」を開始する。ここからの進行は事務局に願う。

－ 提案者入場 －

【諏-1 提案者】

- ・「諏-1 諏訪唱歌ナツメロ教室事業」の概要説明

【川上会長】

諏-1 について質疑を求める。

【堀川委員】

何か目標等があれば教えてほしい。

【諏-1 提案者】

団体の目標としては、やはり高齢者が元気である地域でありたいと願っており、そのための仲間づくり・生きがいくりの場でありたいと思っている。

【川上会長】

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりすでに中止となった会もあるようだが、今後の対策や進め方、予算執行について教えてほしい。

【諏-1 提案者】

県外に行くことを計画しているが、情勢を見極め安全第一でやっていくしかないと思っている。なお、実施できなかった部分の補助金については返納したいと考えている。

【川上会長】

ぜひ、うまくいくことを祈っている。他に質問はあるか。

(発言なし)

まだ時間があるため、提案団体として何かアピール等あれば、改めて説明願う。

【諏-1 提案者】

アピールではないが、事務局に質問する。定例会の講師料の半分を自己負担として、残りの半分に補助を充てる提案をしている。だが新型コロナウイルス感染症の影響により、すでに5回休止している。今後、定例会の時間が取れることとなった場合、他の月に実施しても問題ないか。

【川上会長】

事務局より回答願う。

【藤井係長】

新型コロナウイルス感染防止のため、代替の手段として時期を変更して実施することは問題ない。ただ、ほかの経費に振り替えることはできない。

【川上会長】

ぜひ、別の月に変更して事業を実施してほしいと思う。以上でヒアリングを終了する。委員は随時採点票を記入願う。

－ 提案者退席、次の提案者入場 －

【諏-2 提案者】

・「諏-2 移住促進諏訪の会活動事業」の概要説明

【川上会長】

諏-2 について質疑を求める。

【堀川委員】

非常に興味のある活動で、重要なことだと思う。3年前に発足したということだが、過去の活動と今後の活動を具体的に教えてほしい。

【諏-2 提案者】

上越市ではいろいろな移住促進の施策を行っている。まず、市においてどのようなことを推進しているのかを勉強した。上越市に移住してきた人に対して、どの程度の支援が行われるのかといったことや、市内で移住促進に取り組んでいる団体の

情報を集め、現状理解に努めた。また、諏訪地区の中でも少しずつ空き家が目立ってきている。現状として管理がどうなっているのかなど、地域の住民への聞き取りにより現状把握に努めた。その他、移住促進を推進している他の地域、例えば新潟県では越前浜で移住促進をしている団体がある。それらの活動内容の視察を行った。長野県の信濃町や須坂市でも移住促進に取り組んでいる団体がある。須坂市では、行政が移住者に仕事や住む家まで紹介してくれる。そのほか、昨年度は石川県七尾市に出向き、自分たちの住んでいる地域を知ってもらうための情報を集めた「集落の教科書」という冊子を作っている団体について勉強してきた。それらを参考としながら今後進めていきたいと思っている。

【堀川委員】

最近、空き家が目立っているとのことだが、そのことについては具体的に利用方法等を考えているか。

【諏-2 提案者】

あくまでも個人の所有物であるため、我々が直接何かすることはできないと思う。また、こういった情報は個人情報であるため、あまり大きく公表できない。本人と話をして、こういうふうにしたいといったことがあれば、行っていきたいと思っている。だが、今のところ直接空き家の持ち主と会って、具体的に話をしたということはない。今後はそういった活動もしていかなければならないと思っている。

【川上会長】

新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響について質問する。ウイルスの影響によりなかなか計画どおりに事業が進められないと思うが、対策や影響について教えてほしい。

【諏-2 提案者】

昨年度の計画で、3月に地域住民を対象にした勉強会を予定していた。だが新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、3密を防ぐために本来は延期としたかったが、他の状況を見て中止とした。今後新型コロナウイルス感染症の影響がどのようになるのか見通しがつかないが、今年度は少しは緩和されるように思う。人と会うことが制限がされるかもしれないが、何とか新型コロナウイルスの影響を最小限に食い止めながら活動できると思っている。

【川上会長】

しっかりと対策を考えて活動してほしいと思う。他に質問はあるか。

【山岸 愛委員】

3月に予定していた勉強会は中止したとのことだが、今年度の予算には勉強会分の予算は盛り込まれているのか。

【諏-2 提案者】

盛り込んでいる。収支計画の研修費の中に、移住促進フォーラムの講師謝金として1万2,000円(6,000円×2人)、交通費として1万円(5,000円×2人)を予定している。

【川上会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

－ 提案者退席、次の提案者入場 －

【諏-3 提案者】

・「諏-3 芳澤謙吉翁顕彰事業」の概要説明

【川上会長】

諏-3について質疑を求める。

【堀川委員】

地元にいながらも、芳澤謙吉翁の素晴らしさは最近になってようやく知った。できれば、もっと若い人にも勉強してほしいと思うが、若い人に伝えていくための考え等があれば教えてほしい。

【諏-3 提案者】

昨年も北諏訪小学校の生徒が芳澤記念公園に来て、活動を行った。年に1回程度はこのような活動を行っており、諏訪小学校の生徒とも活動を行ったことがある。また公園の清掃作業を年に3回行っているが、夏の清掃には児童の保護者にも声掛けを行い、公園に触れてもらうことを目的に参加してもらっている。その他、学校で先生から芳澤謙吉翁について話をしてもらっている。昨年は、雄志中学校の授業で、芳澤謙吉翁の偉業を勉強する機会を作ってもらえた。もう少し深く活動するた

めにどうしたらよいのかについては今後の課題である。そういった活動から、少しずつ馴染んでいってもらえればよいと思っている。

【堀川委員】

地元で大変な功績のある人であるため、今後の活動に期待している。

【川上会長】

新型コロナウイルス感染症の影響により、すでに講演会等が中止となっている。今後の研修会や公園整備では人が多く集まると思うのだが、考えている対策等を教えてほしい。

【諏-3 提案者】

昨日より、県をまたいでの移動が可能となったこともあり、基本的にはマスクを着用し、すぐそばで大きな声で会話等しなければ問題はないとも聞いている。開始前にはしっかりと注意喚起し、できる限り一定の間隔を取ってもらいながらの活動を予定している。現状で勉強会や清掃作業を予定しているが、勉強会でも机の間隔を空ける等の対策を取り、できるだけ3密の状況を作らぬよう進めていきたい。

【川上会長】

他に質問はあるか。

【山田副会長】

大々的に宣伝しているということだが、昨年だけでよいので、分かる範囲でどれぐらい来場者や参加者があったか教えてほしい。

【諏-3 提案者】

会館は常時開けてはいない。団体や関係者に連絡があれば、会館を見てもらうこともある。個人的に来る人は年間4・5人程度だと思う。そのほか、学校の生徒が授業等で来ることや、我々が会場を使用することが中心となっている。

【川上会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

【諏-3 提案者】

先ほどの公園への来園者数に含めなかったが、毎年、お茶会と講演会を行っている。お茶会については35人から40人程度、講演会については40人から45人程度

の参加者がある。

【川上会長】

以上でヒアリングを終了する。

－ 提案者退席、次の提案者入場 －

【諏-4 提案者】

・「諏-4 すわっ子わくわく事業」の概要説明

【川上会長】

諏-4 について質疑を求める。

【服部委員】

すわっ子クラブの活動の対象となる子どもの人数を教えてください。

【諏-4 提案者】

諏訪小学校に現在通ってる全校生徒 29 人の子どもたちと、そのほか小学校には通っていないが諏訪区に住んでいる子どもたちを対象としている。大体 30 人程度だと考えている。

【川上会長】

新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響について、子どもたちが集まって活動する計画もあるようだが、3密にならぬよう十分に考慮して事業を実施してほしいと思う。他に質問はあるか。

(発言なし)

まだ時間があるため、何かPR等あれば説明願う。

【諏-4 提案者】

毎年オリジナルTシャツを作成している。今年度は子どもたち一人ひとりが自身で書いた“にこちゃん”マークをTシャツのバックプリントにする。そのTシャツを着てダンスを踊り、ビデオ撮影することを計画している。

【山岸 愛委員】

ダンスの動画はとても見たいと思う。これまでであれば、文化祭等で披露していたため、自分たちも見に行くことができた。今回はビデオ撮影となっているが、ビデオ撮影がゴールなのか。その結果として、何かしらのかたちで諏訪の人たちが見ることができる機会はあるのか。

【諏-4 提案者】

言い忘れていたため補足する。これまでは夏祭りのオープニングで子どもたちがダンスを踊っていた。今年度は、その代わりとして、できたらの話になってしまうが、文化祭の時に機会があれば、撮影した動画を流したいと思っている。

【川上会長】

今年の小学校の文化祭は、まだ中止とはなっていないのか。

【諏-4 提案者】

小学校長の話では、縮小するかたちで、もしかすると半日での活動を考えているようである。

【川上会長】

以上でヒアリングを終了する。

－ 提案者退席、次の提案者入場 －

【諏-5 提案者】

・「諏-5 諏訪の里づくり活動事業」の概要説明

【川上会長】

諏-5 について質疑を求める。

【堀川委員】

映画の上映会について、具体的に決まっている内容や会場、実施方法等を教えてほしい。

【諏-5 提案者】

会場は諏訪小学校の体育館を借り、テーブルやいすを出して行う予定である。人数的には100人程度に限定して、新型コロナウイルス感染症に対応していきたいと考えている。映画の上映については、プロジェクターで映写することとし、題目等もある程度は選定しているところである。

【川上会長】

提案書5ページに、活動に必要な備品としてハンディ型サーマルカメラの記載がある。なかなか高価なものであるが、新型コロナウイルス感染症対策には非常に有効だと思う。こういった場面での使用を考えているか。

【諏-5 提案者】

ハンディ端末であるため貸出しも可能である。来た人の顔や体温等を管理・保管ができるようになっている。来た人に都度名前等を記載してもらわなくとも、誰が来たのかしっかりと管理・把握できる。それもあって非接触型のほうがよいと考え提案した。

【川上会長】

それはどういった時に使用する予定としているのか。

【諏-5 提案者】

本来、すべての会議等で入場者の体温を測り対応しなければならないが、非接触型であれば設置さえしておけば前を通るだけで確認できる。また、通った人の顔も分かる。当団体で準備できれば、必要とする他の団体への貸出しも十分に可能であると思っている。

【川上会長】

高価なものであるため、共有して十分に活用してほしいと思う。ほかに質問はあるか。活動内容が最も多い団体であるため、提案内容をよく見ていただき、不明な点等あれば質問してほしい。

(発言なし)

まだ時間があるため、提案団体より事業計画等アピールする点があれば改めて説明願う。

【諏-5 提案者】

当団体の活動内容は十分に理解されていると思う。引き続き協力願う。

【川上会長】

以上でヒアリングを終了する。

－ 提案者退席、次の提案者入場 －

【諏-6 提案者】

・「諏-6 未楽来すわ活動事業」の概要説明

【川上会長】

諏-6 について質疑を求める。

【堀川委員】

提案書 2 ページの(2)に「(3) 戦国ロマンを求めて」とあるが、詳細を教えてください。

い。

【諏-6 提案者】

上杉謙信公が軍資金を調達する際に、青苧を利用してかなりの財源を得たと言われている。木綿が出回る前の繊維としては、青苧の繊維が最先端であったようである。せっかく地域に材料があるため、そういったことを地域活性化の材料としてはどうかと考えた。

【川上会長】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、いろいろな影響が出てくると思う。これにより事業計画に及ぼす影響等はあるか。

【諏-6 提案者】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策をあまり考えなくても良かった頃は、事業自体を年内の12月までに終了させることを検討していた。しかし、事業時期を少しでも後ろに変更した方が新型コロナウイルスの影響も減ると考え、年度末ギリギリの3月まで実施期間を遅らせた。しかし新型コロナウイルスの影響が長引いた場合には、実施回数を減らすことや、複数の部屋を利用する等、3密を防ぐことを検討している。講師の先生にあちこちの会場を回って指導してもらうことは申し訳ないのだが、できるだけ距離を取り3密を防ぎ事業を実施していきたいと考えている。

【川上会長】

対策を十分に考えて計画してほしいと思う。他に質問はあるか。

(発言なし)

まだ時間があるため、提案団体より事業計画等、アピールする点があれば改めて説明願う。

【諏-6 提案者】

・「諏-6 未楽来すわ活動事業」の概要説明の補足

【川上会長】

以上でヒアリングを終了する。

— 提案者退席、次の提案者入場 —

【諏-7 提案者】

・「諏-7 くびき野諏訪ホームページ運営委員会事業」の概要説明

【川上会長】

諏-7 について質疑を求める。

【山岸 愛委員】

ノートパソコンの購入は、当該ノートパソコン以外からホームページの更新作業にアクセスできないようにすることが目的なのか。

【諏-7 提案者】

そうではない。これまでどおり約6年間携わってきたスタッフが更新等の作業を行う。膨大なデータをノートパソコンに集約するということである。団体は、当初スタッフ3人の私物のノートパソコンを使用して活動を立ち上げ、今日に至っているが、私物はいかがなものかと思っている。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、明日のことは分からない状況が続いているが、もし誰かに何かがあったとしても、1台のノートパソコンに情報を蓄積しておけば問題はないと考え、ノートパソコンの購入を提案した。ホームページのデータを1台にまとめ、今まで6年間携わってきたスタッフが管理するかたちをとりたい。つまり更新作業のやり方やデータの保管場所を変えるということである。

【山岸 愛委員】

ノートパソコンはどこで管理するのか。

【諏-7 提案者】

ディスプレイと同様に、公民館での管理を考えている。

【川上会長】

新型コロナウイルスの影響により、計画が変更等になっている団体も多い。「諏-7」の事業では、何か計画に影響が出たことや、対策を考えていること等はあるか。

【諏-7 提案者】

諏訪地区オリジナルの手洗い動画の作成を検討している。しかし、なかなか協力してもらえない人がいないため、結局、小学生とタイアップしたいと思っている。学校の校長先生と話をし、生徒の顔は出さずに手のみが映るように撮影し、歌に合わせて洗い方が分かるようにしたい。最近はどこに行っても手の洗い方が紹介されているが、意外とやり方が統一されていない。諏訪地区で検討している手洗い方法

がよいか悪いかは別にしても、気楽に見られるような動画を作成中である。

【川上会長】

他に質問はあるか。

【堀川委員】

ドローンの空撮ではどういったものを撮影しているのか。またドローンの耐用年数等はまだ問題ないのか。

【諏-7 提案者】

ドローンの耐用年数は、一般の家電と同様に約6年である。現在、3年目に入ったところで、まだ大丈夫である。撮影内容は基本的に春夏秋冬の景観の空撮である。また、他の使用方法としては、今後高齢者の徘徊等があった際に、警察や消防関係に協力して、ドローンで捜索することも考えている。所有しているドローンは半径5キロまで遠隔操作でき、バッテリーの持続時間は25分で、時速70キロで移動できる。すでに交番に自分の連絡先を伝え、何かあった場合に協力できるということをお話している。ホームページ運営とは異なる用途であるが、地域の安全を守ることにしても話をしていく。

【川上会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

－ 提案者退席、次の提案者入場 －

【諏-8 提案者】

・「諏-8 諏訪区防災士会事業」の概要説明

【川上会長】

いろいろな団体で新型コロナウイルス対策を考えている。地区の安心安全のために活動しているわけだが、避難訓練等人が集まる機会における感染症対策についての考えを聞かせてほしい。

【諏-8 提案者】

できれば、諏訪地区全体の避難訓練デーを作りたいと思っている。しかしながら、防災士は死ぬまで防災士として活動するが、町内会長は任期が終われば交代してし

まい、想いが引き継がれない。たかが 11 町内ではあるが、まとまって同日に訓練を実施することは難しい。

【川上会長】

他に質問はあるか。

【服部委員】

今年度は AED 関連の予算のみとなっているが、次年度以降の予定等あれば教えてほしい。

【諏-8 提案者】

ようやく AED を配備でき、AED 出前講習を実施したことで少しずつ注目を浴びている。まずは AED を充実させて次のステップに進みたいと考えている。4 年前には原子力発電所にも視察に行くなど、防災士に関わる活動はいろいろと行っているのだが、しばらくは誰でも AED を使用できるような環境を作ることが目標である。ずっと走ってきたため、あまり先ばかりを見ず、そろそろ自分の足元を見て充実を図りたいと思っている。

【川上会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

－ 提案者退席、次の提案者入場 －

【諏-9 提案者】

・「諏-9 「地域に元気を！」雄志太鼓活動支援事業」の概要説明

【川上会長】

諏-9 について質疑を求める。

【堀川委員】

確認であるが、提案している太鼓は合計 7 台で間違いはないか。

【諏-9 提案者】

そのとおり。

【堀川委員】

現在、所有している太鼓の台数を教えてほしい。

【諏-9 提案者】

現在、大太鼓が4台、中太鼓が4台ほど、みそ樽のような樽太鼓が15台ぐらい、その他以前に地域活動支援事業の補助金で購入した担ぎ太鼓が2台である。

【堀川委員】

その他で7台を新規に購入したいということか。

【諏-9 提案者】

購入を希望している7台は、大太鼓が2台、残り5台が樽太鼓である。提案書3ページの記載に誤りがある。

【川上会長】

この提案は雄志中学校区の諏訪区、津有区、高士区の3地区にまたがった提案となっている。希望している提案金額の3分の1を諏訪区の配分額で補助するかたちになることを承知願う。全団体に確認しているのだが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響について、練習等で多くの人が集まると思うが考えている対策等について教えてほしい。

【諏-9 提案者】

最近まで、中学校が変則的な登校となっており、また部活動も休止していた。当団体も7月より再開する予定となっている。対策については学校側に任せているため、これといって自分の方で考えてはいない。予想できる対策としては、3密とならぬよう間隔を2メートルほど離して練習するのではないかとと思われる。

【川上会長】

それ以上の対策も難しいように思う。他に質問はあるか。

(発言なし)

今年度は様々な行事が中止となっている。それに代わるような行事や太鼓演奏の計画はあるか。

【諏-9 提案者】

現時点では、中止となった行事に代わるようなイベント等は考えていない。例年であれば、地域の祭り等で演奏を行っているため、秋以降に祭りや収穫祭等が開催できれば、挨拶を兼ねて参加したいと考えている。

【川上会長】

せっかく練習した成果を披露できないことが残念であるため、これからも頑張っ
てほしいと思う。他に質問はあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

ー 提案者退席、次の提案者入場 ー

以上で提案者への全ヒアリングが終了した。

これより「③ 採点」に入る。

- ・委員による採点、事務局による集計
- ・会議の中断を宣言

【川上会長】

- ・会議の再開を宣言

採点結果がまとまったため、次第2 議題「(1) 地域活動支援事業について」の「④
審査・採択すべき事業の決定」に入る。最初に採択すべき事業について審議し、そ
の後に補助額についての協議を行う。

最初に基本審査判定についてである。基本審査判定は地域活動支援事業の目的へ
の適合性を問う判定項目である。本日の審査では目的に不適合と判定した委員はい
なかったため不採択となる事業はない。

次に諏訪区の採択方針への適合判定についてである。審査する委員の4分の3以
上が不適合と判定した事業は評価の低い事業となり、共通審査基準の平均点に関わ
らず下位に位置付けられる。しかしこれも不適合と判定した委員はいなかったため
該当する事業はなかった。

次に共通審査基準による採点結果についてである。1 つでも平均点が2 点未満の
項目があった場合は評価の低い事業となるが、これも該当する事業はなかった。

以上のことから全事業を採択することとしてよいか。意見のある委員はその理由
も含めて意見願う。

【藤井係長】

- ・採点結果をプロジェクターで投影

共通審査基準の採点結果を読み上げる。1 位は「諏-5 諏訪の里づくり活動事業」
の23.7 点、2 位は「諏-8 諏訪区防災士会事業」の23.5 点、3 位は「諏-2 移住

促進諏訪の会活動事業」の 23.2 点、4 位は「諏-3 芳澤謙吉翁顕彰事業」の 22.7 点、5 位は「諏-9 「地域に元気を！」雄志太鼓活動支援事業」の 22.5 点、6 位は「諏-6 未楽来すわ活動事業」の 22.0 点、7 位は「諏-7 くびき野諏訪ホームページ運営委員会事業」の 21.8 点、8 位は「諏-4 すわっ子わくわく事業」の 21.2 点、9 位は「諏-1 諏訪唱歌ナツメロ教室事業」の 20.6 点となっている。

【川上会長】

採点の結果を受け、全事業を採択するとしてよいか。

(よしの声)

全事業を採択することに仮決定する。次に補助額についてである。本年度は全提案事業の補助希望額は、諏訪区の配分額を下回っているため財源に合わせた減額は必要ない。次に採択すべきと決した事業について、地域活動支援事業費による支援を行うことが適当ではないと考えられる経費、例えば支出の費目の中で、自己負担で賄うべきではないかといった経費があれば発言願う。

(発言なし)

提案書を確認し、適当ではないと思う項目等があれば発言してほしい。

(発言なし)

では、ここまでの採択すべき事業と補助額の審議内容について、確認のため事務局より読み上げ願う。

【藤井係長】

確認する。すべての事業の基本審査判定、優先採択方針について、全委員が適合と判定している。「諏-2 移住促進諏訪の会活動事業」については、諏訪区地域協議会での審査のルールにより、移住促進諏訪の会の団体役員は審査に参加できないこととなっているため、9 人の評価結果により平均点を出している。共通審査基準のどの項目も 2 点を下回るものがなかったため、点数のまま順位付けを行っている。その後の協議にてすべての事業を採択すること、また補助に適当ではないと判断した経費もなかった。そのためすべての事業について、当初の申請額どおり採択することが決定した。これについて、再度確認を願う。

【川上会長】

では、諏訪区の採択すべき事業と補助額については、今ほどの事務局確認のとお

りとしてよいか。

(よしの声)

以上で採択すべき事業とその補助額が決定した。続いて、附帯意見について審議する。採択すべきとした事業については、地域協議会からの附帯意見（採択の条件）を付けることができる。参考資料の意見や、これまでの協議の内容を踏まえ、附帯意見が必要と思う事業がある委員の発言を求める。

【藤井係長】

附帯意見について、事務局より補足する。附帯意見は拘束力を持ち、それが順守されなければ、結果として補助金は交付されないことになる。昨年度の例であるが、昨年度は配分額を超える提案があり、減額調整も行った。2 団体よりデジタルカメラ購入の提案があり、最終的には諏訪の里づくり協議会の提案が採択され、「諏訪区内の団体より借用の申し出があった場合には、支障のない範囲で無償で貸出すこと」を附帯意見とした。

【川上会長】

今の説明を参考に意見を求める。

(発言なし)

では附帯意見をつける提案はないということでよいか。

(よしの声)

以上で次第2 議題「(1) 地域活動支援事業について」の「④ 審査・採択すべき事業の決定」を終了する。

次に「⑤ 追加募集の実施の要否について」事務局より説明を求める。

【藤井係長】

・追加募集について説明

【川上会長】

昨年度は配分額を超える提案があったため、各団体より金額の調整を行ってもらい、最終的に減額して決定した。しかし、今年度は配分額よりも提案額が少なかつたため残金が出ている。ついては追加募集の実施について協議したいと思う。追加募集の実施について意見を求める。

【川上 奈津子委員】

例年であれば、100万円程度の残額があればもったいないと思ってしまう。だが今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、また委員改選があったこともあり、例年に比べて地域活動支援事業の採択決定が1か月ほど遅れていると思う。今年度については、例年どおりのスケジュールで追加募集を実施した場合、ヒアリングや審査をすることは時間的に厳しいと思う。

【川上会長】

他に意見はあるか。

【山岸 愛委員】

今ほどの川上 奈津子委員の意見に同意である。他の区では7月下旬ぐらいにならないと審査が終わらないとの話がある。その区では採択決定が遅いため、事業に取り掛かりたくてもなかなか準備もできないとの話も聞いている。この後で追加募集を行う場合、もし8月に補助金が決定したとしても、できることは非常に限られ難しいように思う。未来があるのであれば有効に使いたいと思うが、今年度については難しいと思う。手間をかけて準備をしても、結果的に新型コロナウイルス感染症の影響により何も実施できなかつたとなるほうが、労力的には辛いと思う。

【川上会長】

他に意見はあるか。

【西嶋委員】

前の2人の委員と同意見である。今年度は追加募集を実施しなくてよいと思っている。

【川上会長】

他に意見はあるか。ヒアリングにて多く発言された堀川委員の意見を求める。

【堀川委員】

自分は今年度より初めて委員になったため、これまでは募集して採択するまでの流れというものが分からなかった。自分としては、追加募集を実施しても良いのではないかと考えている。だが考えとしてまとまっておらず、これまでの3人の委員の意見も納得できる部分はある。

【川上会長】

追加募集をする場合には、募集を開始して採択されるまでに結構な時間がかかる

と思う。それから事業を実施することとなる。

【堀川委員】

先ほどは、追加募集を実施してもよいのではないかと発言したが、採択決定までにそれだけの時間かかるとなると、やはり難しいと考え直した。

【川上会長】

他に意見はあるか。

【服部委員】

地域活動支援事業で補助を受ける団体であれば、すでに4月の当初募集にて提案していると思う。そのため、この後で追加募集をかけてもどうかと思うところもある。ただ今年度の諏訪区の配分額480万円のうち、例えば120万円の残額が出た場合、来年度の配分額が減額されるということはないのか。

【川上会長】

事務局に回答を求める。

【藤井係長】

地域活動支援事業の配分額については、予算案件であるため現状でははっきりと答えることができないが、これまでは毎年、総額で1億8,000万円の予算が措置されてきた。これを均等割と人口割によって各区に配分しており、使用状況は加味していない。

【川上会長】

おそらく予算は変わらないと思っている。他の区でも、かなりの残額がある区もある。ほぼ変わらずに毎年実施されているため、配分額については安心してよいと思う。他に意見はあるか。山田副会長の意見を求める。

【山田副会長】

各委員の意見を聞いた上で今後のことを考えると、やはり追加募集をせずに、このまま終わることがベストだと思っている。

【川上会長】

他に意見はあるか。

(発言なし)

では追加募集の実施について採決をとる。委員の意見でも追加募集は実施しない

との意見が多かった。追加募集を実施しないことに賛成の委員は挙手願う。

(10人挙手)

全員の賛成により、今年度は追加募集を実施しないこととする。以上で「⑤ 追加募集の実施の要否について」を終了する。

最後に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局に説明を求める。

【藤井係長】

- ・ 次回の協議会について説明

【川上会長】

－ 日程調整 －

- ・ 次回の協議会：7月28日（火）午後7時 諏訪地区公民館 集会室
- ・ 内容：①採択結果（報告）
②採択結果の検証・課題等の洗い出し
- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail:chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。